

「高専」は高校とどこが違うの？

高専は、一般の高校とは違うさまざまな特徴を持っています。「ナビ02」では、高専と高校の違いについてわかりやすく説明。皆さんが中学校を卒業して進学する際の参考として、ぜひしっかりご覧ください。

高専は「5年制」で、卒業すれば「準学士」に！

高専は中学校卒業生を対象に、5年間の一貫教育を行う高等教育機関。卒業後に準学士の称号を得られます。成績評価は定期試験・平常の成績・出席状況・学習態度を総合して行われ、一般的に年4回の定期試験を実施。成績評価が一定基準に達していないと進級できないので、高専の授業をしっかり学び、宿題もがんばる必要があります。

高専は「自由な時間」がとりやすい！

高専では大学受験のためのいわゆる“受験勉強”がありませんので、自由な時間をたくさん持つことができます。この時間をどのように活用するかは皆さん次第。勉学に励むのもよし、部活動や学生会活動、趣味、ボランティアに打ち込むのもよいでしょう。



大学受験に左右されない！
社会に通用する学びの授業



大学生のように自由な生活を
過ごすことができます

高専は「設備・施設」が大規模！



敷地は高校と比べて
広大で、甲子園球場の
6～8個分の広さ！そ
の敷地内にさまざま
な設備や施設があり
ます。

国立高専の全てに「寮を完備」！

- 規則正しい生活ができます。
- 親元を離れて生活することで自立心がつき、
集団生活にも慣れます。

図書館の蔵書数は全国で約500万冊を数えます。

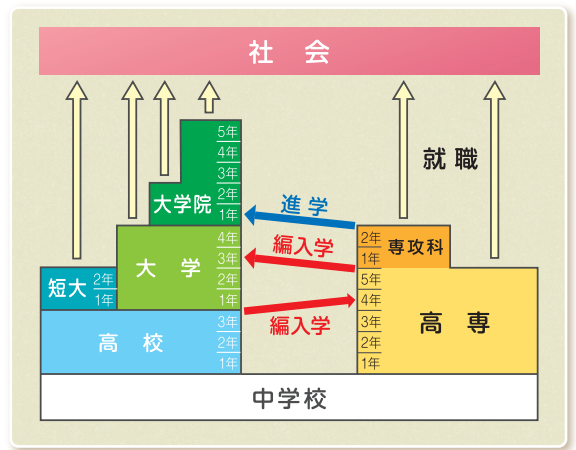
「高専への進学」をお考えの皆さんへ

高専には多彩な入試方法があります！

高専には、推薦入試、学力入試、AO入試などさまざまな入試があります。詳細は興味のある高専にお問い合わせください。ちなみに一部を除き、住んでいる地域に関係なく、全国の高専を受験することができます。

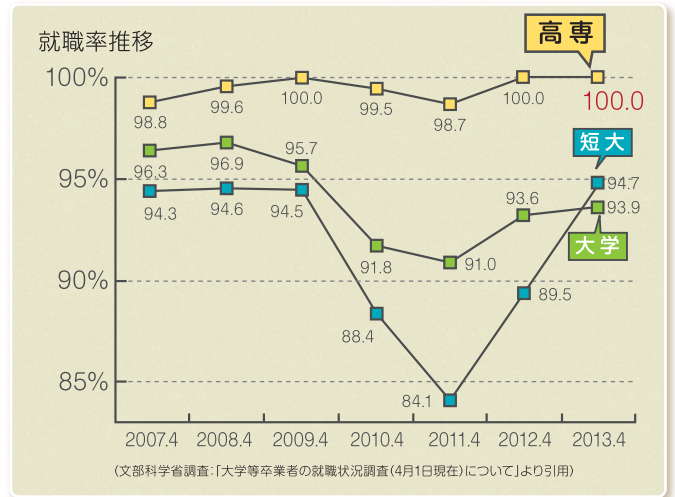
高専は卒業後「就職・進学(大学への編入学 or 専攻科)」を選べる!

右の図は高専卒業後の進路を図式化したものです。高専では就職する以外に、大学への進学・編入学ができます。この図を見ると、卒業後の進路の幅がとても広いことが分かります。



高専で就職・進学の夢をかなえよう!

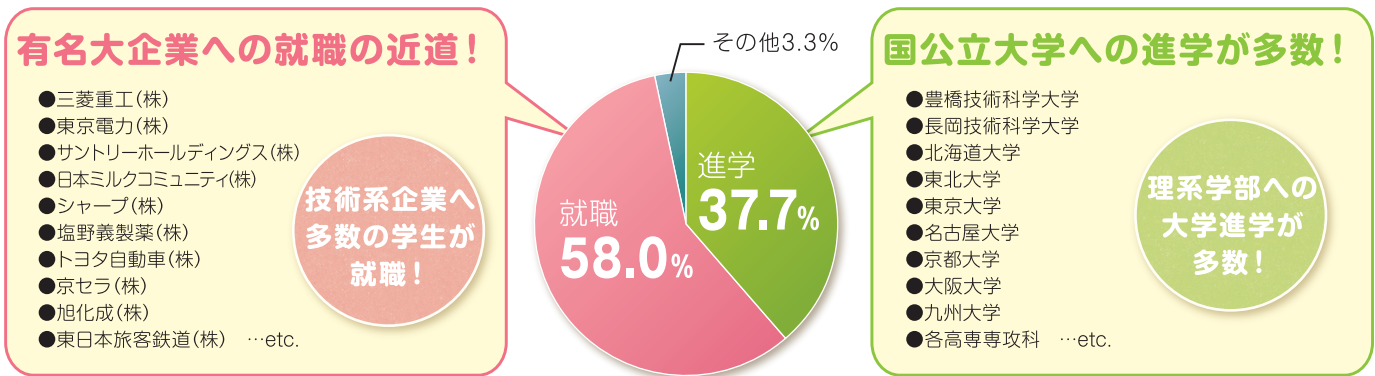
高専は現役での就職・進学が毎年ほぼ100%の安定感!特に就職率は不況の時代でも、右の折れ線グラフのように例年100%近い水準を維持しています。また、高専全体の就職・進学実績は下の円グラフのとおりで、社会や大学から高い評価を受けています。



高専卒業後(5年卒業時)、大学3年生として大学に編入学可能!

編入学先は国公立大学の工学部を中心に理学部、経済学部、文学部など多岐にわたっています。

高専の進路別卒業生数の割合



アンケート 企業の方に高専生の評価を聞いてみました!

- 大学(理工系)では専門性の低下や、モノ造りへのこだわりの欠如などが傾向として見られます。中学校卒業と同時に、一流の教授陣に恵まれる高専の存在は、ますます重要な位置付けになってきており、期待しています。
- 高専らしく、より高度な技術教育をしていただくことにより、大学生よりもずっと即戦力になると思います。期待をしています。
- 在籍者4名は、技術・サービススキルやコミュニケーション能力も高く、各配属先で中心となり活躍しています。
- おおむね、優秀な人材が多く、高い評価をしています。専門的な教育のほか、人間教育なども多く取り入れられ、より立派な人材を輩出されそうです。期待いたします。
- 当社の仕事は、主として電気通信機器の施工・保守であり、適性的には電気工学科卒です。しかし、当社に在籍する卒業生は機械工学科卒にもかかわらず、育成教育の中で電氣的な専門知識も修得してきており、基礎的な適応能力は比較的高いと評価しています。